

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	1
授業科目	医療請求事務基礎 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 医療保険制度、医療保険の給付 2 医療事務の仕事、カルテ・レセプトの上書き 3 初診料 4 初診料レセプト記載法 5 再診料① 6 再診料② 7 再診料レセプト記載法 8 医学管理等 9 医学管理等レセプト記載法 10 投薬料① 11 投薬料② 12 投薬料③ 13 投薬料レセプト記載法 14 注射料① 15 注射料② 16 注射料レセプト記載法 17 処置料 18 処置料レセプト記載法 19 手術料① 20 手術料② 21 手術料レセプト記載法 22 検査料① 23 検査料② 24 検査料③ 25 検査料④ 26 検査料レセプト記載法 27 画像診断料① 28 画像診断料② 29 画像診断料レセプト記載法 30 処方せん料、処方せん料レセプト記載法
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	2
授業科目	医療請求事務基礎Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 初・再診料(学科対策) 2 医学管理料(学科対策) 3 在宅医療料(学科対策) 4 検査料(学科対策) 5 その他(学科対策) 6 初・再診料(レセプト問題①) 7 初・再診料(レセプト問題②) 8 初・再診料(レセプト総合問題①) 9 初・再診料(レセプト総合問題②) 10 医学管理料(レセプト問題①) 11 医学管理料(レセプト問題②) 12 医学管理料(レセプト総合問題①) 13 医学管理料(レセプト総合問題②) 14 学科・レセプト応用問題① 15 学科・レセプト応用問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	3
授業科目	医療請求事務基礎演習
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 レセプト項目別問題① 2 レセプト項目別問題② 3 レセプト項目別問題③ 4 レセプト項目別問題④ 5 レセプト項目別問題⑤ 6 レセプト項目別総合問題 7 レセプト基礎問題① 8 レセプトフォロー基礎問題① 9 レセプト基礎問題② 10 レセプトフォロー基礎問題② 11 レセプト基礎問題③ 12 レセプトフォロー基礎問題③ 13 レセプト基礎問題④ 14 レセプトフォロー基礎問題④ 15 レセプト基礎問題⑤ 16 レセプトフォロー基礎問題⑤ 17 レセプト基礎総合問題 18 レセプト応用問題① 19 レセプトフォロー応用問題① 20 レセプト応用問題② 21 レセプトフォロー応用問題② 22 レセプト応用問題③ 23 レセプトフォロー応用問題③ 24 レセプト応用問題④ 25 レセプトフォロー応用問題④ 26 レセプト応用問題⑤ 27 レセプトフォロー応用問題⑤ 28 レセプト応用総合問題 29 レセプト最終確認直前問題① 30 レセプト最終確認直前問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	4
授業科目	医療請求事務応用 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 初・再診料等の復習 2 入院料 3 入院料レセプト記載法 4 入院基本料等加算、入院時食事療養費 5 入院基本料等加算、入院時食事療養費レセプト記載法 6 投薬料、投薬料レセプト記載法 7 注射料、注射料レセプト記載法 8 レセプト総合演習① 9 処置料① 10 処置料② 11 処置料レセプト記載法 12 手術料① 13 手術料② 14 手術料レセプト記載法 15 麻酔料、神経ブロック料 16 麻酔料、神経ブロック料レセプト記載法 17 検査料① 18 検査料② 19 検査料③ 20 検査料レセプト記載法 21 レセプト総合演習② 22 画像診断料 23 画像診断料レセプト記載法 24 医学管理等 25 医学管理等レセプト記載法 26 リハビリテーション料、精神科専門療法料、放射線治療、処方箋料レセプト記載法 27 公費負担医療制度 28 レセプト総合演習③ 29 レセプト総合演習④ 30 レセプト総合演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	5
授業科目	医療請求事務応用Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 投薬・注射料(学科対策) 2 リハビリテーション料(学科対策) 3 精神科専門療法料(学科対策) 4 総合実技演習①(外来レセプト) 5 処置料(学科対策) 6 手術・麻酔料(学科対策) 7 総合実技演習②(外来レセプト) 8 放射線治療(学科対策) 9 入院料等(学科対策) 10 総合実技演習③(入院レセプト) 11 過去問対策① 12 過去問対策② 13 過去問対策③ 14 過去問対策④ 15 過去問対策⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	6	
授業科目	医療請求事務応用演習	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療管理2年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	レセプト項目別問題①
	2	レセプト項目別問題②
	3	レセプト項目別問題③
	4	レセプト基礎問題①
	5	レセプト基礎問題②
	6	レセプト基礎問題③
	7	レセプト基礎問題④
	8	レセプト基礎問題⑤
	9	レセプト応用問題①
	10	レセプト応用問題②
	11	レセプト応用問題③
	12	レセプト応用問題④
	13	レセプト応用問題⑤
	14	レセプト最終確認直前問題①
	15	レセプト最終確認直前問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点	
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	7
授業科目	医療秘書実務基礎 I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60 時間
授業コマ数	30 コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する
教科書	医療秘書 (株式会社メディカルエデュケーション) 病院のマネジメント (建帛社)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本の医療制度と特徴 (医療秘書) 2 病院の組織と運営 (医療秘書) 3 医療秘書の仕事と役割 (医療秘書) 4 求められる人物像 (医療秘書) 5 医療サービスと接遇 (医療秘書) 6 患者対応の基本 (医療秘書) 7 患者対応の応用 (医療秘書) 8 敬語について (医療秘書) 9 ビジネス文書と文書作成 (医療秘書) 10 院外文書の作成 (医療秘書) 11 院内文書の作成 (医療秘書) 12 復習 (医療秘書) ① 13 復習 (医療秘書) ② 14 総合演習 (医療秘書) ① 15 総合演習 (医療秘書) ② 16 総合演習 (医療秘書) ③ 17 病院の目的と機能 (病院のマネジメント) 18 診療部門 (病院のマネジメント) 19 看護部門 (病院のマネジメント) 20 副診療技術部門 (病院のマネジメント) 21 薬剤部門 (病院のマネジメント) 22 栄養・給食部門 (病院のマネジメント) 23 臨床試験センター (病院のマネジメント) 24 人間関係のマネジメント (病院のマネジメント) 25 事務部門 (病院のマネジメント) 26 復習 (病院のマネジメント) ① 27 復習 (病院のマネジメント) ② 28 総合演習 (病院のマネジメント) ① 29 総合演習 (病院のマネジメント) ② 30 総合演習 (病院のマネジメント) ③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀 : 90点以上、優 : 80点以上、良 : 70点以上、可 : 60点以上、不可 : 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	8
授業科目	医療秘書実務基礎Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する
教科書	医療関連法規第2版(建帛社) DMT Disease & Medicinal therapy(株式会社 薬ゼミ情報教育センター)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康保険法(関連法規) 2 保険の種類(関連法規) 3 療養の給付および入院食事療養費など(関連法規) 4 保険給付(関連法規) 5 日雇特例被保険者制度(関連法規) 6 船員保険法(関連法規) 7 各種共済組合法(関連法規) 8 国民健康保険法(関連法規) 9 高額療養費支給制度(関連法規) 10 復習(関連法規) 11 脳、眼科(基礎医学) 12 神経系(基礎医学) 13 耳鼻咽喉科、循環器科(基礎医学) 14 循環器科、皮膚(基礎医学) 15 復習(基礎医学)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	9
授業科目	医療秘書実務基礎演習
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 基礎練習問題① 2 基礎練習問題② 3 基礎練習問題③ 4 基礎練習問題④ 5 基礎練習問題⑤ 6 基礎練習問題⑥ 7 直前練習問題① 8 直前練習問題② 9 直前練習問題③ 10 直前練習問題④ 11 直前練習問題⑤ 12 直前練習問題⑥ 13 最終確認問題① 14 最終確認問題② 15 最終確認問題③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	10
授業科目	医療秘書実務応用 I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療秘書における応用的な知識を理解する
教科書	医療秘書(株式会社メディカルエデュケーション) 改訂 医療関連法規(建帛社)
特記	
授業計画	1 医療サービスと患者接遇 2 ビジネス文書 3 個人情報保護法 4 敬語 5 復習 6 医療保険制度 7 医療施設関連法規 8 医療従事者関係各法 9 復習 10 労災保険制度 11 年金・自動車損害賠償責任保険法 12 後期高齢者医療制度 13 介護保険制度 14 公費負担医療制度 15 復習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	11
授業科目	医療秘書実務応用Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療秘書における応用的な知識、特に医学知識について理解する
教科書	DMT(株式会社 薬ゼミ情報教育センター)
特記	
授業計画	1 呼吸器系の仕組み 2 呼吸器系疾患 3 消化器系の仕組み① 4 消化器系の仕組み② 5 消化器系疾患① 6 消化器系疾患② 7 復習 8 骨格・筋系の仕組み 9 骨格・筋系疾患 10 代謝・内分泌系の仕組み 11 代謝・内分泌系疾患 12 復習 13 体液・血液系の仕組み 14 体液・血液系疾患 15 総復習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	12
授業科目	医療秘書実務応用演習
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	患者接遇・関連法規・基礎医学の知識を深める
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 基礎演習解説 2 基礎演習① 3 基礎演習② 4 基礎演習③ 5 基礎演習④ 6 基礎演習⑤ 7 基礎演習復習 8 直前演習解説 9 直前演習① 10 直前演習② 11 直前演習③ 12 直前演習④ 13 直前演習⑤ 14 直前演習復習 15 最終確認問題
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	13
授業科目	医療秘書実践 I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	患者だけでなく、その家族や来客に適切な対応ができるようになる
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン (医学通信社) 配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会人としてのマナー (言葉遣い、態度) 2 社会人としてのマナー (表情、アイコンタクト) 3 社会人としてのマナー (挨拶、お辞儀) 4 社会人としてのマナー (挨拶の基本フレーズ) 5 立ち居振る舞い、聞く聴く 6 初診受付の流れ 7 初診受付基本対応 8 確認テスト 9 医療者としてのマナー (自然な声掛け、聴く姿勢) 10 カルテの上書き 11 初診受付の一連の流れ 12 初診受付 実技演習① 13 初診受付 実技演習② 14 初診受付 効果測定① 15 初診受付 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	14
授業科目	医療秘書実践Ⅱ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	患者だけでなく、その家族や来客に適切な対応ができるようになる
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン (医学通信社) 配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 身だしなみ (服装、髪型) 2 身だしなみ (メイク)、挨拶① 3 訊く、質問、メモの取り方 4 他己紹介、メモの取り方 5 好感度アップ、挨拶② 6 指示アドバイスを受ける 7 報告・連絡・相談 8 電話対応① (内線) 9 電話対応② (内線) 10 個人情報への配慮 11 守秘義務規定 12 医療機関での個人情報にあたる書類の確認 13 医療費の支払いに関する配慮 14 お釣りの計算① 15 お釣りの計算② 16 会計受付 17 会計受付ロールプレイング① 18 会計受付ロールプレイング② 19 確認テスト 20 再診受付 21 再診受付ロールプレイング① 22 再診受付ロールプレイング② 23 再診・会計実技演習① 24 再診・会計実技演習② 25 再診・会計実技演習③ 26 再診・会計実技演習④ 27 再診・会計効果測定① 28 再診・会計効果測定② 29 再診・会計効果測定③ 30 会計受付
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	15
授業科目	医療秘書実践Ⅲ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療事務学科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	患者だけでなく、その家族や来客に適切な対応ができるようになる
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン (医学通信社) 配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 贈答マナー (暑中見舞い、年賀状) 2 名刺・物の受け渡し 3 指示アドバイスを受ける、院内コミュニケーションの方法 4 電話対応 (外線) 5 電話対応実技演習 6 患者気質別の対応方法 7 患者家族への対応方法 8 入院患者・外来患者・救急患者への対応、優先順位の付け方 9 高齢者受給者証、後期高齢者医療、高齢者への対応 10 小児医療証、小児 (保護者) 11 初診・再診① 12 初診・再診② 13 初診・再診③ 14 初診・再診実技演習① 15 初診・再診実技演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	16
授業科目	一般教養 I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	ビジネスで使用される初歩的な熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名① 2 訓読み・送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓① 7 異字同訓② 8 同音異義① 9 同音異義② 10 誤字訂正① 11 誤字訂正② 12 項目別模擬試験① 13 項目別模擬試験② 14 直前模擬試験① 15 直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	17
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己PR作成① 5 自己PR作成② 6 自己PR作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 医療機関研究① 11 医療機関研究② 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 模擬面接練習③ 15 模擬面接試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	18
授業科目	医療キャリアデザイン I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	医療事務員として仕事をするための心構え・準備内容を理解する
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	医療事務員として仕事をする意識付け及び自己表現ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 医療事務員としての心構え 2 職業理解 3 自己分析① 4 自己分析② 5 自己PR作成① 6 自己PR作成② 7 作文・小論文① 8 作文・小論文② 9 病院研究① 10 病院研究② 11 質疑応答① 12 質疑応答② 13 自己表現演習① 14 自己表現演習② 15 自己表現演習③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	19
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名・熟語① 2 訓読み・送り仮名・熟語② 3 同音異義・異字同訓 4 誤字訂正、類義語・反対語 5 漢字の意味・使い方① 6 漢字の意味・使い方② 7 漢字の意味・使い方③ 8 ことわざ・故事成語・慣用句 ① 9 ことわざ・故事成語・慣用句 ② 10 特殊な漢字の読み書き① 11 特殊な漢字の読み書き② 12 項目別模擬試験① 13 項目別模擬試験② 14 直前模擬試験① 15 直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	20
授業科目	患者接遇論概論
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15コマ
授業概要	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	実習前に患者接遇に必要なスキルを身に付け、実習で対応できるようにする
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 実習生の心構えとマナー 2 病院業務と実習日誌 3 聞く姿勢と言葉遣い 4 質問・メモの取り方 5 自分からの行動 6 指示・アドバイスを受ける 7 トラブル対応 8 受付対応 9 医事コンピューターの使い方 10 電話対応 11 病院研究 12 病院見学 13 病院での一日の流れ 14 実習先の電話連絡 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	21
授業科目	病院実習 I
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	60 時間
授業コマ数	30 コマ
授業概要	病院にて医療事務員として必要な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	病院内で行う医療事務の職業内容を理解する
教科書	
特記	総合病院などに勤務している現役医療事務員から、患者案内や受付対応、医事課業務のポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習 (院内オリエンテーション) ① 2 現場実習 (院内オリエンテーション) ② 3 現場実習 (病院概要) ① 4 現場実習 (病院概要) ② 5 現場実習 (患者案内) ① 6 現場実習 (患者案内) ② 7 現場実習 (患者案内) ③ 8 現場実習 (患者案内) ④ 9 現場実習 (患者案内) ⑤ 10 現場実習 (カルテ管理) ① 11 現場実習 (カルテ管理) ② 12 現場実習 (カルテ管理) ③ 13 現場実習 (カルテ管理) ④ 14 現場実習 (カルテ管理) ⑤ 15 現場実習 (医事課業務) ① 16 現場実習 (医事課業務) ② 17 現場実習 (医事課業務) ③ 18 現場実習 (医事課業務) ④ 19 現場実習 (医事課業務) ⑤ 20 現場実習 (医事課業務) ⑥ 21 現場実習 (総合受付) ① 22 現場実習 (総合受付) ② 23 現場実習 (総合受付) ③ 24 現場実習 (総合受付) ④ 25 現場実習 (総合受付) ⑤ 26 現場実習 (外来クラーク) ① 27 現場実習 (外来クラーク) ② 28 現場実習 (外来クラーク) ③ 29 現場実習 (外来クラーク) ④ 30 現場実習 (外来クラーク) ⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	22
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	医療機関で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 電卓演習⑬ 15 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	23
授業科目	診療報酬基礎
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 診療報酬項目別基礎演習1 2 診療報酬項目別基礎演習2 3 診療報酬項目別基礎演習3 4 診療報酬項目別基礎演習4 5 診療報酬項目別基礎演習5 6 診療報酬項目別基礎演習6 7 診療報酬項目別基礎演習7 8 診療報酬項目別基礎演習8 9 診療報酬項目別基礎演習9 10 診療報酬項目別基礎演習10 11 診療報酬項目別基礎演習11 12 診療報酬項目別基礎演習12 13 診療報酬項目別基礎演習13 14 診療報酬項目別基礎演習14 15 診療報酬項目別基礎演習15
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	24
授業科目	診療報酬応用 I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 診療報酬項目別応用演習 1 2 診療報酬項目別応用演習 2 3 診療報酬項目別応用演習 3 4 診療報酬項目別応用演習 4 5 診療報酬項目別応用演習 5 6 診療報酬項目別応用演習 6 7 診療報酬項目別応用演習 7 8 診療報酬項目別応用演習 8 9 診療報酬項目別応用演習 9 10 診療報酬項目別応用演習 10 11 診療報酬項目別応用演習 11 12 診療報酬項目別応用演習 12 13 診療報酬項目別応用演習 13 14 診療報酬項目別応用演習 14 15 診療報酬項目別応用演習 15 16 診療報酬項目別応用演習 16 17 診療報酬項目別応用演習 17 18 診療報酬項目別応用演習 18 19 診療報酬項目別応用演習 19 20 診療報酬項目別応用演習 20 21 診療報酬項目別応用演習 21 22 診療報酬項目別応用演習 22 23 診療報酬項目別応用演習 23 24 診療報酬項目別応用演習 24 25 診療報酬項目別応用演習 25 26 診療報酬項目別応用演習 26 27 診療報酬項目別応用演習 27 28 診療報酬項目別応用演習 28 29 診療報酬項目別応用演習 29 30 診療報酬項目別応用演習 30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	25	
授業科目	診療報酬応用Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療管理2年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	診療報酬項目別応用演習3 1
	2	診療報酬項目別応用演習3 2
	3	診療報酬項目別応用演習3 3
	4	診療報酬項目別応用演習3 4
	5	診療報酬項目別応用演習3 5
	6	診療報酬項目別応用演習3 6
	7	診療報酬項目別応用演習3 7
	8	診療報酬項目別応用演習3 8
	9	診療報酬項目別応用演習3 9
	10	診療報酬項目別応用演習4 0
	11	診療報酬項目別応用演習4 1
	12	診療報酬項目別応用演習4 2
	13	診療報酬項目別応用演習4 3
	14	診療報酬項目別応用演習4 4
	15	診療報酬項目別応用演習4 5
	16	診療報酬項目別応用演習4 6
	17	診療報酬項目別応用演習4 7
	18	診療報酬項目別応用演習4 8
	19	診療報酬項目別応用演習4 9
	20	診療報酬項目別応用演習5 0
	21	診療報酬項目別応用演習5 1
	22	診療報酬項目別応用演習5 2
	23	診療報酬項目別応用演習5 3
	24	診療報酬項目別応用演習5 4
	25	診療報酬項目別応用演習5 5
	26	診療報酬項目別応用演習5 6
	27	診療報酬項目別応用演習5 7
	28	診療報酬項目別応用演習5 8
	29	診療報酬項目別応用演習5 9
	30	診療報酬項目別応用演習6 0
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点	
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	26
授業科目	診療報酬演習
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な演習を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 診療報酬演習 1 2 診療報酬演習 2 3 診療報酬演習 3 4 診療報酬演習 4 5 診療報酬演習 5 6 診療報酬演習 6 7 診療報酬演習 7 8 診療報酬演習 8 9 診療報酬演習 9 10 診療報酬演習 10 11 診療報酬演習 11 12 診療報酬演習 12 13 診療報酬演習 13 14 診療報酬演習 14 15 診療報酬演習 15 16 診療報酬演習 16 17 診療報酬演習 17 18 診療報酬演習 18 19 診療報酬演習 19 20 診療報酬演習 20 21 診療報酬演習 21 22 診療報酬演習 22 23 診療報酬演習 23 24 診療報酬演習 24 25 診療報酬演習 25 26 診療報酬演習 26 27 診療報酬演習 27 28 診療報酬演習 28 29 診療報酬演習 29 30 診療報酬演習 30
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀: 90点以上、優: 80点以上、良: 70点以上、可: 60点以上、不可: 60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	27
授業科目	医療キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	医療事務員としての自己表現力を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	医療事務員として自己表現ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 自己分析見直し① 2 自己分析見直し② 3 自己分析見直し③ 4 自己分析見直し④ 5 自己分析見直し⑤ 6 自己PR作成① 7 自己PR作成② 8 自己PR作成③ 9 自己PR作成④ 10 自己PR作成⑤ 11 自己表現演習① 12 自己表現演習② 13 自己表現演習③ 14 自己表現演習④ 15 自己表現演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	28	
授業科目	医療キャリアデザインⅢ	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	医療管理2年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	医療事務員としての自己表現力を身に付ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己分析見直し①
	2	自己分析見直し②
	3	自己分析見直し③
	4	自己分析見直し④
	5	自己分析見直し⑤
	6	自己分析見直し⑥
	7	自己分析見直し⑦
	8	自己分析見直し⑧
	9	自己分析見直し⑨
	10	自己分析見直し⑩
	11	自己PR作成①
	12	自己PR作成②
	13	自己PR作成③
	14	自己PR作成④
	15	自己PR作成⑤
	16	自己PR作成⑥
	17	自己PR作成⑦
	18	自己PR作成⑧
	19	自己PR作成⑨
	20	自己PR作成⑩
	21	自己表現演習①
	22	自己表現演習②
	23	自己表現演習③
	24	自己表現演習④
	25	自己表現演習⑤
	26	自己表現演習⑥
	27	自己表現演習⑦
	28	自己表現演習⑧
	29	自己表現演習⑨
	30	自己表現演習⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	29
授業科目	ビジネス文書作成
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業回数	15コマ
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 文字入力の基礎 1 2 文字入力の基礎 2 3 ビジネス文書作成 1 (案内文) 4 ビジネス文書作成 2 (案内文) 5 ビジネス文書作成 3 (送付状) 6 ビジネス文書作成 4 (送付状) 7 ビジネス文書作成 5 (社内文書) 8 ビジネス文書作成 6 (社内文書) 9 ビジネス文書作成 7 (表作成) 10 ビジネス文書作成 8 (表作成) 11 ビジネス文書作成 9 (表作成) 12 ビジネス文書作成 10 (文章と表の組み合わせ) 13 ビジネス文書作成 11 (文章と表の組み合わせ) 14 ビジネス文書作成 12 (メール文章・メールの設定) 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	30
授業科目	医療秘書実践IV
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	患者だけでなく、その家族や来客に適切な対応ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト(患者接遇パーフェクト・レッスン) 配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的マナーの復習① 2 基本的マナーの復習② 3 聞くから聴くへ(上司との会話、同僚との会話)① 4 聞くから聴くへ(上司との会話、同僚との会話)② 5 ホウレンソウ・情報収集① 6 ホウレンソウ・情報収集② 7 電話対応①(内線)※電話をかける 8 電話対応②(外線)※電話をかける 9 実習初日の挨拶、確認事項① 10 実習初日の挨拶、確認事項② 11 実技テスト(初日の挨拶)① 12 実技テスト(初日の挨拶)② 13 医療人としてのマナー(ロビー対応)① 14 医療人としてのマナー(ロビー対応)② 15 医療人としてのマナー(問い合わせ対応)① 16 医療人としてのマナー(問い合わせ対応)② 17 問い合わせ対応(待ち時間)① 18 問い合わせ対応(待ち時間)② 19 問い合わせ対応(金額)① 20 問い合わせ対応(金額)② 21 問い合わせ対応(説明不足)① 22 問い合わせ対応(説明不足)② 23 患者タイプ別対応① 24 患者タイプ別対応② 25 患者タイプ別対応③ 26 患者タイプ別対応④ 27 患者タイプ別対応実技テスト① 28 患者タイプ別対応実技テスト② 29 患者タイプ別対応実技テスト③ 30 患者タイプ別対応実技テスト④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	31
授業科目	医療秘書実践V
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	受付での患者対応マナーや対応方法を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	患者だけでなく、その家族や来客に適切な対応ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト(患者接遇パーフェクト・レッスン) 配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 受付対応の復習① 2 受付対応の復習② 3 外国人対応① 4 外国人対応② 5 特殊保険(更生医療)① 6 特殊保険(更生医療)② 7 特殊保険(更生医療)③ 8 特殊保険(更生医療)④ 9 特殊保険(自賠責)① 10 特殊保険(自賠責)② 11 特殊保険(労災)① 12 特殊保険(労災)② 13 特殊保険筆記試験① 14 特殊保険筆記試験② 15 レセプト点検① 16 レセプト点検② 17 レセプト点検③ 18 レセプト点検④ 19 接遇(来客対応)① 20 接遇(来客対応)② 21 接遇(来客対応)③ 22 接遇(来客対応)④ 23 問い合わせ対応(応用)① 24 問い合わせ対応(応用)② 25 問い合わせ対応(応用)③ 26 問い合わせ対応(応用)④ 27 問い合わせ対応実技試験(応用)① 28 問い合わせ対応実技試験(応用)② 29 問い合わせ対応実技試験(応用)③ 30 問い合わせ対応実技試験(応用)④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	32
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	病院などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	病院などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 働くとは 2 業界研究 3 医療機関研究① 4 医療機関研究② 5 志望動機の作り方① 6 志望動機の作り方② 7 志望動機の作り方③ 8 志望動機の作り方④ 9 志望動機の作り方⑤ 10 書類送付方法 11 ビジネス電話 12 ビジネスメール 13 内定後学習① 14 内定後学習② 15 内定後学習③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	33
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究・グループ討議① 6 時事研究・グループ討議② 7 時事研究・グループ討議③ 8 時事研究・グループ討議④ 9 時事研究・グループ討議⑤ 10 時事研究・グループ討議⑥ 11 時事研究・グループ討議⑦ 12 時事研究・グループ討議⑧ 13 時事研究・グループ討議⑨ 14 発表① 15 発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	34
授業科目	病院実習Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	病院にて医療事務員として必要な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	病院内で行う医療事務の職業内容を理解する
教科書	
特記	大学病院や総合病院で勤務している現役医療事務員から、患者対応や診療報酬請求の方法、ポイント、注意点を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習（院内オリエンテーション）① 2 現場実習（院内オリエンテーション）② 3 現場実習（初診受付）① 4 現場実習（初診受付）② 5 現場実習（初診受付）③ 6 現場実習（初診受付）④ 7 現場実習（初診受付）⑤ 8 現場実習（再診受付）① 9 現場実習（再診受付）② 10 現場実習（再診受付）③ 11 現場実習（再診受付）④ 12 現場実習（再診受付）⑤ 13 現場実習（入退院受付）① 14 現場実習（入退院受付）② 15 現場実習（入退院受付）③ 16 現場実習（入退院受付）④ 17 現場実習（入退院受付）⑤ 18 現場実習（医事課業務）① 19 現場実習（医事課業務）② 20 現場実習（医事課業務）③ 21 現場実習（医事課業務）④ 22 現場実習（医事課業務）⑤ 23 現場実習（医事課業務）⑥ 24 現場実習（医事課業務）⑦ 25 現場実習（医事課業務）⑧ 26 現場実習（診療報酬請求、医事コンピュータ）① 27 現場実習（診療報酬請求、医事コンピュータ）② 28 現場実習（診療報酬請求、医事コンピュータ）③ 29 現場実習（診療報酬請求、医事コンピュータ）④ 30 現場実習（診療報酬請求、医事コンピュータ）⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	35
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能の向上を目的とする
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 電卓演習① 2 電卓演習② 3 電卓演習③ 4 電卓演習④ 5 電卓演習⑤ 6 電卓演習⑥ 7 電卓演習⑦ 8 電卓演習⑧ 9 電卓演習⑨ 10 電卓演習⑩ 11 電卓演習⑪ 12 電卓演習⑫ 13 電卓演習⑬ 14 電卓演習⑭ 15 電卓演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	36
授業科目	接遇論マナー実践
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業回数	30コマ
授業概要	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	実習前に患者接遇の知識とスキルを身に付け、スムーズに対応できるようにする
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 実習生の心構えとマナー 2 病院業務 3 実習日誌① 4 実習日誌② 5 聞く姿勢 6 言葉遣い 7 質問 8 メモの取り方 9 自分からの行動① 10 自分からの行動② 11 指示を受ける 12 アドバイスを受ける 13 トラブル対応① 14 トラブル対応② 15 受付対応① 16 受付対応② 17 医事コンピューターの使い方 18 電話対応① 19 電話対応② 20 病院研究① 21 病院研究② 22 病院研究③ 23 病院見学① 24 病院見学② 25 病院での一日の流れ① 26 病院での一日の流れ② 27 実習先の電話連絡① 28 実習先の電話連絡② 29 実習先の電話連絡③ 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	37
授業科目	医療ビジネスマナー I
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	基本的なビジネススキルの向上
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	身に付けた知識や技能を実際に仕事上で活かせるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 挨拶（言葉遣い）の必要性 2 基本的な言葉遣い 3 クッション言葉 4 状況に応じた言葉遣い 5 笑顔・お辞儀 6 基本的な電話応対 7 応用的な電話応対 8 電話応対演習① 9 電話応対演習② 10 電話応対演習③ 11 電話応対演習④ 12 電話応対演習⑤ 13 電話応対演習⑥ 14 電話応対演習⑦ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	38
授業科目	請求事務実践 I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 外来レセプト復習1 2 外来レセプト復習2 3 入院レセプト復習1 4 入院レセプト復習2 5 入院レセプト復習3 6 公費負担医療とは 7 公費（生活保護） 8 公費（障害者総合支援法） 9 公費（結核医療） 10 公費（難病医療費助成制度） 11 DPCとは 12 コーディングの要点 13 DPCの演習1 14 DPCの演習2 15 DPCの演習3
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	39
授業科目	医療キャリアデザインⅣ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	医療事務員としての自己表現力を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	医療事務員として自己表現ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 自己分析見直し① 2 自己分析見直し② 3 自己分析見直し③ 4 自己分析見直し④ 5 自己分析見直し⑤ 6 自己PR作成① 7 自己PR作成② 8 自己PR作成③ 9 自己PR作成④ 10 自己PR作成⑤ 11 自己表現演習① 12 自己表現演習② 13 自己表現演習③ 14 自己表現演習④ 15 自己表現演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	40
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	職場内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 学校と職場の違い③ 4 職場のマナー① 5 職場のマナー② 6 職場のマナー③ 7 仕事の進め方① 8 仕事の進め方② 9 仕事の進め方③ 10 報告、連絡、相談① 11 報告、連絡、相談② 12 報告、連絡、相談③ 13 挨拶① 14 挨拶② 15 挨拶③ 16 笑顔、お辞儀① 17 笑顔、お辞儀② 18 笑顔、お辞儀③ 19 敬語① 20 敬語② 21 敬語③ 22 応対の基本① 23 応対の基本② 24 応対の基本③ 25 電話対応① 26 電話対応② 27 電話対応③ 28 効果測定① 29 効果測定② 30 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	41
授業科目	医療ビジネスマナーⅡ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ロールプレイを行いながら実践的な知識を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	医療現場における実践的な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な受付対応 2 保険の種類別対応 3 受付対応の実践側 4 効果測定（受付対応の基本） 5 クレームとは 6 クレーム対応の方法 7 病院内におけるクレーム対応・クレーム対応の例 8 待ち時間・説明不足に関するクレーム対応 9 診療時間に関するクレーム対応・クレーム対応練習 10 受付対応実技応用 レクチャー① 11 受付対応実技応用 レクチャー② 12 受付対応実技応用 実践練習① 13 受付対応実技応用 実践練習② 14 効果測定（受付対応実技応用） 15 効果測定（受付対応実技応用）
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	42
授業科目	請求事務実践Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用的な知識の向上
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個別問題(初診・再診) 2 個別問題(入院・食事) 3 個別問題(医学管理・投薬) 4 個別問題(注射・処置) 5 個別問題(手術・麻酔) 6 個別問題(検査・画像) 7 レセプト演習 外来① 8 レセプト演習 入院① 9 レセプト演習 外来② 10 レセプト演習 入院② 11 レセプト演習 外来③ 12 レセプト演習 入院③ 13 レセプト演習 外来④ 14 レセプト演習 入院④ 15 効果測定(外来・入院)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀:90点以上、優:80点以上、良:70点以上、可:60点以上、不可:60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	43
授業科目	社会保険基礎論
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	保険の基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療現場における様々な保険知識の理解をする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療保険について① 2 医療保険について② 3 後期高齢者医療制度① 4 後期高齢者医療制度② 5 公費① 6 公費② 7 介護保険① 8 介護保険② 9 自動車損害賠償保障法① 10 自動車損害賠償保障法② 11 労働者災害補償保険法① 12 労働者災害補償保険法② 13 レセプト点検・総括① 14 レセプト点検・総括② 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	44
授業科目	医学知識
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	病院受付でも患者対応できるように医学的な基礎的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医学の基礎を理解する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 生活習慣病・脂質異常症 2 高血圧症 3 動脈硬化症 4 狭心症・心筋梗塞 5 脳梗塞・脳出血 6 クモ膜下出血・感冒症候群 7 扁桃炎 8 肺炎・気管支炎 9 胃炎 10 胃・十二指腸潰瘍 11 胃癌 12 肝炎 13 肝硬変・肝癌 14 胆石症・膵炎 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	45
授業科目	パソコン実習 I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成 (1) ① 11 表、画像、図形を使った文書の作成 (1) ② 12 表、画像、図形を使った文書の作成 (1) ③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成 (1) ④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成 (1) ⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成 (1) ⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	46	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療管理2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	表作成の基本操作①
	5	表作成の基本操作②
	6	表作成の基本操作③
	7	表、画像、図形を使った文書の作成(2)①
	8	表、画像、図形を使った文書の作成(2)②
	9	表、画像、図形を使った文書の作成(2)③
	10	見やすく使いやすい表にする編集操作①
	11	見やすく使いやすい表にする編集操作②
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作③
	13	見やすく使いやすい表にする編集操作④
	14	見やすく使いやすい表にする編集操作⑤
	15	見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	47
授業科目	Word基礎
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 10 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ④ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	48
授業科目	Word応用
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	49
授業科目	Excel基礎
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用するデータの集計① 9 関数を使用するデータの集計② 10 関数を使用するデータの集計③ 11 関数を使用する条件付き計算① 12 関数を使用する条件付き計算② 13 関数を使用する条件付き計算③ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更② 16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④ 29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	50
授業科目	Excel応用
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成① 4 テーブルの作成② 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義授業内における試験の得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	51
授業科目	医療キャリアデザインV
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	医療事務員としての自己表現力を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 自己表現演習① 2 自己表現演習② 3 自己表現演習③ 4 自己表現演習④ 5 自己表現演習⑤ 6 自己表現演習⑥ 7 自己表現演習⑦ 8 自己表現演習⑧ 9 自己表現演習⑨ 10 自己表現演習⑩ 11 業界研究、業種研究① 12 業界研究、業種研究② 13 業界研究、業種研究③ 14 業界研究、業種研究④ 15 業界研究、業種研究⑤ 16 業界研究、業種研究⑥ 17 業界研究、業種研究⑦ 18 業界研究、業種研究⑧ 19 業界研究、業種研究⑨ 20 業界研究、業種研究⑩ 21 質疑応答① 22 質疑応答② 23 質疑応答③ 24 質疑応答④ 25 質疑応答⑤ 26 質疑応答⑥ 27 質疑応答⑦ 28 質疑応答⑧ 29 質疑応答⑨ 30 質疑応答⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	52
授業科目	医療キャリアデザインⅥ
実務家教員授業	— —
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	集団討論を通して、医療事務員としての自己表現力を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 集団討論レクチャー① 2 集団討論レクチャー② 3 集団討論レクチャー③ 4 集団討論レクチャー④ 5 集団討論レクチャー⑤ 6 集団討論① 7 集団討論② 8 集団討論③ 9 集団討論④ 10 集団討論⑤ 11 質疑応答① 12 質疑応答② 13 質疑応答③ 14 質疑応答④ 15 質疑応答⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの得点
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	53
授業科目	医事コンピュータ・電子カルテ実習
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業回数	15コマ
授業概要	医事コンピュータ・電子カルテの操作方法を修得する
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	医事コンピュータ・電子カルテへの登録が正確に出来るようになる
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 医事コンピュータ実習① 2 医事コンピュータ実習② 3 医事コンピュータ実習③ 4 医事コンピュータ実習④ 5 医事コンピュータ実習⑤ 6 医事コンピュータ実習⑥ 7 医事コンピュータ実習⑦ 8 電子カルテ実習① 9 電子カルテ実習② 10 電子カルテ実習③ 11 電子カルテ実習④ 12 電子カルテ実習⑤ 13 電子カルテ実習⑥ 14 電子カルテ実習⑦ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	54
授業科目	医師事務作業補助 I
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理 2 年制学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	医療保険制度及び医療関連法規について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医師事務作業補助者として必要となる知識を修得
教科書	メディカルドクターズクラーク講座 テキスト 1～5 (ニチイ)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 我が国の社会保障制度の概要／健康保険の制度① 2 健康保険の制度② 3 健康保険の制度③ 4 健康保険の制度④ 5 国民健康保険の制度 6 保険医療機関及び保健医療養担当規則① 7 保険医療機関及び保健医療養担当規則② 8 その他の法規など 9 医療・衛生法規の制定目的と分類／医務① 10 医務② 11 医務③ 12 公衆衛生 13 社会福祉関連法規① 14 社会福祉関連法規② 15 社会福祉関連法規③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	55
授業科目	医師事務作業補助Ⅱ
実務家教員授業	—
	—
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	医学・薬学に関連する知識及び医師事務作業補助業務や各種医療文書等について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医師事務作業補助者として必要となる知識を修得
教科書	メディカルドクターズブランク講座 テキスト1～5 (ニチイ)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 人体の構成／診断と治療／薬品に関する公定書と法律 2 薬の名称および種類／医薬品と処方 3 薬物療法 4 各種疾患例① 5 各種疾患例② 6 各種疾患例③ 7 各種疾患に作用する薬物① 8 各種疾患に作用する薬物② 9 各種疾患に作用する薬物③ 10 感染症／その他の主な薬物 11 診断書・証明書／傷病手当金支給申請書 12 死亡診断書・死体検案書／処方箋 13 診療情報提供書／医療要否意見書 (生活保護) 14 休業補償給付指休請求書／自動車損害賠償責任保険診断書 15 治療用装具証明書／主治医意見書 (介護保険)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	56	
授業科目	医師事務作業補助演習	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	医療管理2年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	診断書や各種証明書、請求書を作成するための基礎を身に付ける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	医師事務作業補助者として必要となる知識を修得	
教科書	医師事務作業補助技能認定試験受験のための技能認定試験問題集（一般社団法人日本医療教育財団）	
特記		
授業計画	1	【学科演習】模擬試験問題①
	2	【学科演習】模擬試験問題②
	3	【学科演習】模擬試験問題③
	4	【学科演習】模擬試験問題④
	5	【学科演習】模擬試験問題⑤
	6	【実技演習】模擬試験問題①
	7	【実技演習】模擬試験問題②
	8	【実技演習】模擬試験問題③
	9	【実技演習】模擬試験問題④
	10	【実技演習】模擬試験問題⑤
	11	【総合演習】模擬試験問題①
	12	【総合演習】模擬試験問題②
	13	【総合演習】模擬試験問題③
	14	【総合演習】模擬試験問題④
	15	【総合演習】模擬試験問題⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	57
授業科目	病院実習Ⅲ
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	病院にて医療事務員として必要な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	病院内で行う医療事務の職業内容を理解する
教科書	
特記	大学病院や総合病院で勤務している現役医療事務員から、患者対応や病棟内対応、他職種との連携方法、ポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習（初・再診受付）① 2 現場実習（初・再診受付）② 3 現場実習（初・再診受付）③ 4 現場実習（初・再診受付）④ 5 現場実習（初・再診受付）⑤ 6 現場実習（医事課業務）① 7 現場実習（医事課業務）② 8 現場実習（医事課業務）③ 9 現場実習（医事課業務）④ 10 現場実習（医事課業務）⑤ 11 現場実習（外来クラーク）① 12 現場実習（外来クラーク）② 13 現場実習（外来クラーク）③ 14 現場実習（外来クラーク）④ 15 現場実習（外来クラーク）⑤ 16 現場実習（外来クラーク）⑥ 17 現場実習（外来クラーク）⑦ 18 現場実習（病棟クラーク）① 19 現場実習（病棟クラーク）② 20 現場実習（病棟クラーク）③ 21 現場実習（病棟クラーク）④ 22 現場実習（病棟クラーク）⑤ 23 現場実習（病棟クラーク）⑥ 24 現場実習（病棟クラーク）⑦ 25 現場実習（看護助手）① 26 現場実習（看護助手）② 27 現場実習（看護助手）③ 28 現場実習（看護助手）④ 29 現場実習（看護助手）⑤ 30 現場実習（看護助手）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	58
授業科目	病院実習Ⅳ
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習（初・再診受付）① 2 現場実習（初・再診受付）② 3 現場実習（初・再診受付）③ 4 現場実習（初・再診受付）④ 5 現場実習（初・再診受付）⑤ 6 現場実習（医事課業務）① 7 現場実習（医事課業務）② 8 現場実習（医事課業務）③ 9 現場実習（医事課業務）④ 10 現場実習（医事課業務）⑤ 11 現場実習（外来クラーク）① 12 現場実習（外来クラーク）② 13 現場実習（外来クラーク）③ 14 現場実習（外来クラーク）④ 15 現場実習（外来クラーク）⑤ 16 現場実習（病棟クラーク）① 17 現場実習（病棟クラーク）② 18 現場実習（病棟クラーク）③ 19 現場実習（病棟クラーク）④ 20 現場実習（病棟クラーク）⑤ 21 現場実習（会計受付）① 22 現場実習（会計受付）② 23 現場実習（会計受付）③ 24 現場実習（会計受付）④ 25 現場実習（会計受付）⑤ 26 現場実習（看護助手）① 27 現場実習（看護助手）② 28 現場実習（看護助手）③ 29 現場実習（看護助手）④ 30 現場実習（看護助手）⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	59
授業科目	病院実習Ⅴ
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習（初・再診受付）① 2 現場実習（初・再診受付）② 3 現場実習（初・再診受付）③ 4 現場実習（初・再診受付）④ 5 現場実習（初・再診受付）⑤ 6 現場実習（医事課業務）① 7 現場実習（医事課業務）② 8 現場実習（医事課業務）③ 9 現場実習（医事課業務）④ 10 現場実習（医事課業務）⑤ 11 現場実習（外来クランク）① 12 現場実習（外来クランク）② 13 現場実習（外来クランク）③ 14 現場実習（外来クランク）④ 15 現場実習（外来クランク）⑤ 16 現場実習（病棟クランク）① 17 現場実習（病棟クランク）② 18 現場実習（病棟クランク）③ 19 現場実習（病棟クランク）④ 20 現場実習（病棟クランク）⑤ 21 現場実習（会計受付）① 22 現場実習（会計受付）② 23 現場実習（会計受付）③ 24 現場実習（会計受付）④ 25 現場実習（会計受付）⑤ 26 現場実習（看護助手）① 27 現場実習（看護助手）② 28 現場実習（看護助手）③ 29 現場実習（看護助手）④ 30 現場実習（看護助手）⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	60
授業科目	病院実習VI
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者
	実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や応対に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	1 現場実習（初・再診受付）① 2 現場実習（初・再診受付）② 3 現場実習（初・再診受付）③ 4 現場実習（初・再診受付）④ 5 現場実習（初・再診受付）⑤ 6 現場実習（医事課業務）① 7 現場実習（医事課業務）② 8 現場実習（医事課業務）③ 9 現場実習（医事課業務）④ 10 現場実習（医事課業務）⑤ 11 現場実習（会計受付）① 12 現場実習（会計受付）② 13 現場実習（会計受付）③ 14 現場実習（会計受付）④ 15 現場実習（会計受付）⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
科目番号	61
授業科目	病院実習Ⅶ
実務家教員授業	授業担当者：各医療機関における実習指導者 実務経験及び授業との関連性：患者及び医療スタッフとの接触を通じた医療現場の実態を体験する実践的な教育により、医療事務員の基本的態度や対応に必要な基本的技術を身につけさせる
学部・学科	医療管理2年制学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	一医療人になるために患者対応から事務的な仕事まですべてを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	本入社までにスムーズに働けるようになること
教科書	
特記	就職先の現役医療事務員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 現場実習（初・再診受付）① 2 現場実習（初・再診受付）② 3 現場実習（初・再診受付）③ 4 現場実習（初・再診受付）④ 5 現場実習（初・再診受付）⑤ 6 現場実習（医事課業務）① 7 現場実習（医事課業務）② 8 現場実習（医事課業務）③ 9 現場実習（医事課業務）④ 10 現場実習（医事課業務）⑤ 11 現場実習（外来クランク）① 12 現場実習（外来クランク）② 13 現場実習（外来クランク）③ 14 現場実習（外来クランク）④ 15 現場実習（外来クランク）⑤ 16 現場実習（病棟クランク）① 17 現場実習（病棟クランク）② 18 現場実習（病棟クランク）③ 19 現場実習（病棟クランク）④ 20 現場実習（病棟クランク）⑤ 21 現場実習（会計受付）① 22 現場実習（会計受付）② 23 現場実習（会計受付）③ 24 現場実習（会計受付）④ 25 現場実習（会計受付）⑤ 26 現場実習（看護助手）① 27 現場実習（看護助手）② 28 現場実習（看護助手）③ 29 現場実習（看護助手）④ 30 現場実習（看護助手）⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組む姿勢により評価
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満
備考	